

チーム えがお



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 けんえんだん 「チーム北川」～



大切な「命」を守る！ 防犯訓練



学校は、子どもたちの健やかな成長と自己実現を目指して様々な教育活動を行うところです。その基盤は、安全で安心した環境の確保であることは言うまでもありません。しかしながら、近年、小・中学生が被害者となる学校や登下校中における事件や事故が大きな問題となっています。

そこで、4月13日(水)の2校時、登下校時の不審者に出会ったときの対応の仕方について学ぶ、第1回防犯訓練を行いました。今回も、昨年に引き続き笠岡警察署生活安全課、北川駐在所、地域の方5名を講師にお招きして、DVD視聴や講話、実際の場面を想定した訓練(ロールプレイ)を通して学びました。防犯訓練では、具体的な場面を設定し、犯罪被害の防止のための危険予測や危険回避、そして連絡・通報などの能力を育成することが目的です。

下校時には、地域の見守り隊のみなさんにお世話になっていますが、子どもだけで下校することもあります。いつ不審者に出会っても、子どもたち自身が自分の命を守ることができるよう、ぜひ、ご家庭でもお子さんとしっかりと話をしていただきたいと思ひます。

「イカのおすし」を忘れずに！！

- ◇【イカ】 いかない (知らない人にはついて行かない、危ないところに行かない)
- ◇【の】 のらない (知らない人の誘いに乗らない、知らない人の車に乗らない)
- ◇【お】 おおごえでさけぶ (危なかったら大きな声で叫ぶ、怖かったら大きな声で叫ぶ)
- ◇【す】 すぐにげる (人のいるところにすぐ逃げる、近くの家へすぐ逃げる)
- ◇【し】 しらせる (周りの大人に知らせる)

きれいに整理整頓された姿は 気持ちのいいものです！



「北川小学校 ABCD」の原則の一つに、自分の持ちものやみんなで使うものの「整理整頓」があります。整理整頓は、単にきれいにするだけでなく、何を持ち、何がいないのかを子ども自身が考え、把握しようとする習慣や考え方を育てることにつながります。そして、こうした取組はものの管理能力を育てることだけでなく、子どもの「もの」や「生活」に対する自立心(自分で考え、自分で行動し、自分で責任をとる)を培うためにも大切なのです。

大人でも、何かを片付けるときには頭を使っていろいろと考えるものです。

自分にとって必要なものと必要でないものを見分ける力。例えば「ノートはあと何ページになったから新しいノートを買わなくては、この使い方は無駄が多かった、次はもっとていねいにノートをとろう」など、自分のやり方を振り返り、必要と思われるものの量や質を考える力がつくのです。同じように、「〇時〇分まで〇〇をする、休み時間のおわりのチャイムが鳴ったからすぐに教室に入る」など、「じかん」を管理することも、自立心を培うためには大事なことです。こうしたことは、教科学習における「考える力をつけること」に直結しています。